

# STOP！転倒災害プロジェクト土浦

## ～高止まりする転倒災害を防止するために～

関係者のみなさまへ



厚生労働省 土浦労働基準監督署

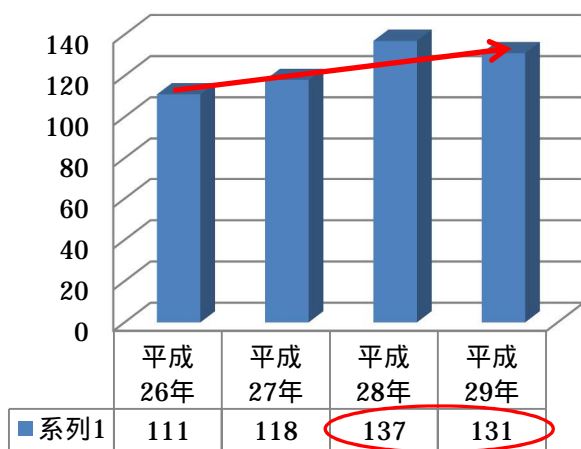
平成 29 年の土浦署管内における労働災害は、休業 4 日以上の死傷災害が 624 件発生しています。災害を事故の型別にみると、転倒災害が 131 件発生しており、前年と比べ若干減少しましたが、依然として全災害の約 2 割強を占め最も多くなっています。

転倒災害の特徴としては、床面の水や油分により滑ったり、通路の段差などにつまずくケースが多く、あらゆる業種で発生しています。

高止まりする転倒災害について、土浦署では「STOP！転倒災害プロジェクト土浦」を展開することとしましたので、関係者のみなさまにおかれましては、同プロジェクトの推進にご協力をよろしくお願いします。

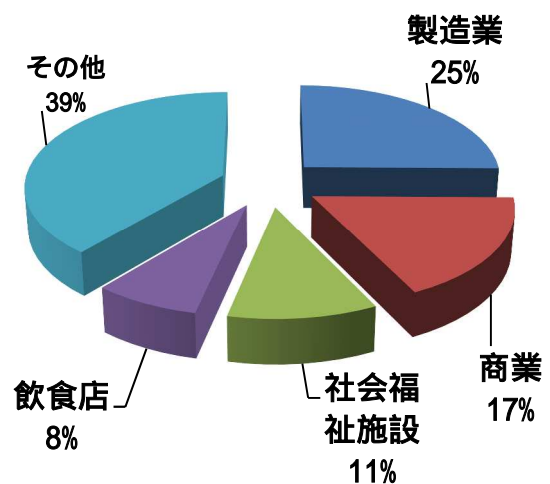
転倒災害の発生状況は、次のとおりです。同種災害の防止にご協力ください。

### 管内の転倒災害の推移



**死傷災害のうち転倒災害が最も多く発生！  
高止まりする傾向がみられます**

### 業種別の転倒災害発生件数 (平成29年・管内)



転倒災害の事例 1 (小売業・足のもつれ)

階段を急いで降りていたところ、足がもつれ転倒した。(打撲、休業見込 30 日)

転倒災害の事例 2 (飲食店・つまずき)

店舗に入ろうとしたところ、入口の段差につまずき転倒した。(手の骨折、休業見込 4 か月)

転倒災害の事例 1 (建設業・滑り)

工事現場で部材の運搬中、養生のため敷いていたベニヤ板の上で滑り転倒した。(肋骨骨折、休業見込 4 日)

## 1 転倒防止対策8項目

- (1) 床面の水濡れ、油、粉類を除去し、安全な作業床、通路を確保
- (2) 通路の段差や凹凸、突起物及び継ぎ目等を解消
- (3) 通路や作業場所の照度の確保、手すりや滑り止めの設置
- (4) 過去に転倒災害があった場所や危険な場所の表示等「見える化」の推進
- (5) 転倒災害防止のための安全な歩き方、作業方法の推進
- (6) 作業内容に適した滑り止め加工された（耐滑性）靴の使用
- (7) 「急ぎ過ぎない、慌てない」行動を徹底
- (8) 定期的な職場点検、安全パトロールの実施

※対策の実施状況をチェックしてください。☑

## 2 「STOP！転倒災害プロジェクト土浦」実施要領

- (1) 重点取組期間  
安全週間準備期間である6月と年末年始無災害運動の12月を重点取組期間とします。
- (2) 取組事項  
各事業場は、転倒防止対策8項目について、可能な事項から実施を図ります。また、重点取組期間において、取組状況の確認をお願いします。
- (3) 12月から3月までの冬季は、路面・作業場の凍結等による危険防止に十分なご配慮をお願いします。

# 業種ごとの転倒災害の特徴

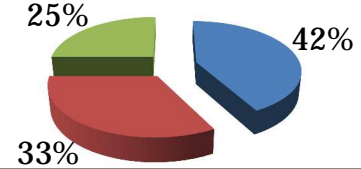
## ～ 製造業（食料品製造業）～

過去に次のような転倒災害が発生しています

ドア前に置いてあった台車につまずいた  
コンテナを移動中、床が濡れていて滑った  
洗浄作業を行っていたところ足を滑らせた  
屋外通路を歩行中、雨で床が濡れていて滑った  
油がこぼれていることに気づかず滑った

### 食料品製造業の特徴

- 物が原因となったもの
- 床の状況が原因となったもの
- その他



食料品製造業の特徴として、清掃や清掃関連の作業中多くの転倒災害が発生しています。また発生時間帯は午前中が最も多くなっています。

### 災害防止のポイント

- ・物に足が引っ掛かり転倒する  
    **通路、階段、出入口や作業場に不要なものを放置しない**
- ・滑りやすい床で転倒する  
    **床の水、油や粉類は放置せず、その都度取り除く**
- ・清掃中、清掃前後に転倒する  
    **KY（危険予知）活動などを通じ、転倒の危険予知を行う**

## ～ 小売業～

過去に次のような転倒災害が発生しています

買い物かごに引っかかり転んだ  
通路に置いてあった段ボールにつまずいた  
屋外の駐車場で路面が凍結していて滑った  
屋外で砂利に足をとられて転倒した  
屋外の駐車場で強風のため転倒した

### 小売業の特徴

- 物が原因となったもの
- 屋外で発生したもの
- その他



小売業の特徴として、屋外や駐車場で多くの転倒災害が発生しています。また発生時間帯は午前0時から午前9時台が最も多くなっています。

### 災害防止のポイント

- ・屋内において、物に足が引っ掛かり転倒する  
    **通路、階段、出入口や作業場に不要なものを放置しない**
- ・屋外の駐車場等で転倒する  
    **ヒヤリ・ハット情報等を活用して、危険な個所を表示、周知する**

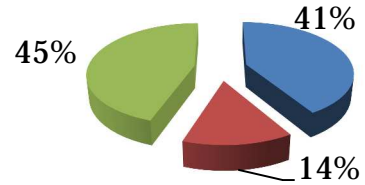
# 業種ごとの転倒災害の特徴

## ～ 社会福祉施設 ～

過去に次のような転倒災害が発生しています  
夜間、照明がなく足元が悪かったためつまずいた  
利用者宅の玄関の段差の落ち葉で滑った  
慌てて戻る途中に足が絡まった  
小走りに用具の片づけしている時、濡れたタイルで滑った

### 社会福祉施設の特徴

- 物が原因となったもの
- 床の状況が原因となったもの
- その他



社会福祉施設の特徴として、慌てたり、急いで行動したことが原因で多くの転倒災害が発生しています。また発生時間帯は午後3時から午後6時台が最も多くなっています。

### 災害防止のポイント

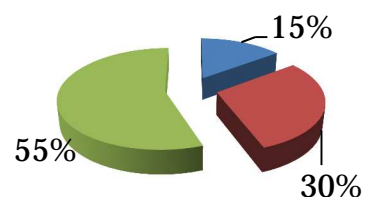
- ・慌てたり、急いで行動して転倒する  
時間に余裕を持って行動する（あせらない 急ぐ時ほど 落ち着いて）
- ・利用者宅で転倒する  
ヒヤリ・ハット情報の共有など、危険情報を共有する

## ～ 飲食店 ～

過去に次のような転倒災害が発生しています  
調理場において、パンケースに足を引っかけた  
洗い場前のマットの下が濡れていてマットごと滑った  
床のフローリングのつなぎ目につまずいた

### 飲食店の特徴

- 物が原因となったもの
- 床の状況が原因となったもの



飲食店の特徴として、調理場で多くの転倒災害が発生しています。また発生時間帯は夕方から夜間が最も多くなっています。

### 災害防止のポイント

- ・床が濡れていて滑って転倒する  
床の水たまり、油や粉類は、放置せずにその都度取り除く
- ・調理場で転倒する  
作業靴は耐滑性があり、ちょうど良いサイズのものとする